

# 令和元年第3回議会定例会における行政概要報告書

(令和元年6月1日から令和元年8月26日まで)

## 1 「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」について

6月16日、那珂市市制施行15周年を記念して「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を那珂総合公園で開催しました。約1700人が参加し、その模様はNHKラジオ第1で生放送されました。

## 2 「東京空襲パネル展」について

8月1日から8月25日まで、幅広い世代の方に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるため、「東京空襲パネル展」を市立図書館及び総合センターらぼーるにおいて開催しました。平和教育の一助とすべく、市内小中学生にチラシを配布し、周知を図りました。

## 3 イバラキセンスにおける「那珂のひまフェス」の開催について

8月3日(土)、東京都中央区銀座にある茨城県のアンテナショップ「IBARAKI sense〜イバラキセンス〜」で、なかひまわりフェスティバルをPRし那珂市をプロモーションする「那珂のひまフェス」を開催しました。

当日はフェルミエ那珂にも協力いただき、黄色の那珂野菜やひまわりに関する特産品などを、市長も自ら店頭で販売しました。また、店内にもひまわりの生花やひまわりをモチーフとしたつるし雛などを展示することで、全体を黄色で統一し、那珂市のひまわりを多くのかたに印象づけることができました。さらに、レストランでのランチサービスとして那珂かぼちゃの冷製スープを約1週間提供し好評を得ました。

## 4 市長と話そう 輪い・和い座談会について

那珂市建設業協同組合からの申請により、「道路・建設」及び「上下水道」をテーマとした「市長と話そう 輪い・和い座談会」を7月24日に開催し、22名のかたのご出席をいただきました。

本年5月に策定された「那珂ビジョン」について市長が説明するとともに、「生活インフラ及び上下水道の整備における今後の展望」などテーマに沿った意見交換を行いました。

## 5 令和元年度茨城県央地域における事業促進に関する要望について

県央地域首長懇話会で取りまとめた茨城県央地域における事業促進に関する要望について、那珂市長を含む県央地域首長懇話会構成市町村長が、8月6日、国土交通省及び財務省を訪問し要望活動を行いました。那珂市関連では、下菅谷停車場線及び上菅谷下菅谷線といった社会資本整備に必要な公共事業費の確保について要望をしました。

## 6 いい那珂暮らし移住・農業体験ツアーについて

那珂市内の農家と連携した農業体験及び地元住民との交流を実施し、移住に向けた関係人口創出及び就農希望者との交流機会の創出を図るべく、移住・農業体験ツアーを実施しました。7月12日は、東京都有楽町においてフェルミエ那珂や那珂アグリス、木内酒造と連携して、首都圏にお住いの移住・就農希望者34人との交流会を行い、8月24日には、25人の参加者に那珂市にお越しいただき、野菜の植え付けや収穫体験のほか木内酒造での交流を行い、大変好評を得ることができました。11月10日には、8月に植えた野菜の収穫体験も予定しています。

## 7 第25回参議院議員通常選挙について

第25回参議院議員通常選挙を次のとおり執行しました。

選挙期日 令和元年7月21日（日）

当日有権者数 46,441人

投票人員 23,014人

投票率 49.56%

## 8 女性ネットワークなか <sup>ひと</sup>男と女<sup>ひと</sup>輝いて生きる講演会について

女性ネットワークなかの主催により、総合センターらぼーるにおいて、「<sup>ひと</sup>男と女<sup>ひと</sup>輝いて生きる講演会」を6月8日に開催しました。口笛奏者の<sup>たかぎ</sup>高木<sup>まりこ</sup>満理子さんによる「世界に響く口笛の音色～耳をすませて心ゆったりと～」と題しご講演いただきました。

高木さんが口笛を始めたきっかけから演奏家としてご活躍されるようになるまでについて等、ユーモアを交えてのお話と、ピアニストの<sup>やぎぬまめぐみ</sup>柳沼恵さんと息の合った演奏で観客を魅了しました。参加者は、230人でした。

## 9 那珂市国際交流のつどいについて

6月26日、中央公民館において、「国際交流のつどい」韓国料理教室を開催しました。講師に韓国出身の<sup>イヨンヒ</sup>李鎔姫さんをお迎えし、なか日本語クラブの協力のもと、チヂミ等の韓国料理を参加者と一緒に作り、料理を通して他国の習慣等、異文化理解を深めました。参加者は、外国人を含む35人でした。

## 10 国際親善姉妹都市との交流について

7月1日から8日までの8日間、国際親善姉妹都市のアメリカ合衆国テネシー州のオークリッジ市から、中学生交換交流事業として、中学生10人と引率者2人が那珂市を訪れ、小学生との英語活動交流や日本文化体験、市内各中学校での学校体験などを通して、幅広い世代との交流を深めました。

また、8月17日から11日間、市内中学生10人と引率者2人がテネシー州のナッシュビル市とオークリッジ市を訪問し、オークリッジ市ではホームステイを体験しました。様々なプログラムを通じて、日本との教育環境の違いやアメリカの文化、大自然にも触れ、8月27日に帰国しました。

## 11 「なかひまわりフェスティバル 2019」について

8月24日、なかひまわりフェスティバル実行委員会の主催により、那珂総合公園をメイン会場として「なかひまわりフェスティバル2019」が開催され、約3万6千人の家族連れや観光客が来場しました。

## 12 小中学校のエアコン整備について

小中学校の普通教室と図書室へのエアコン整備につきましては、7月上旬までに全ての学校の工事及び竣工検査が完了し、使用を開始しました。

## 13 那珂市保幼小中連携協議会の設置について

幼児教育と小・中学校教育を円滑に接続していくことを目指し、「那珂市保幼小中連携協議会」を設置しました。構成員は、教育委員、各幼児教育施設長、学校長会小・中学校部会長、学校教育課長、生涯学習課長、こども課長、こども発達相談センター代表、教育支援センター代表等となっています。

第1回協議会を7月23日に開催し、那珂市の保幼小中連携の現状と今後の方向性などを協議しました。

## 14 那珂市イマージョンスクール（英語教育推進事業）について

7月26日、27日に中央公民館において、生きた英語に触れる体験学習としてイマージョンスクールを開催しました。3年生から6年生までの93名の児童が市の英語指導助手（ALT）と一緒に、バレーボールやサッカー、アーチェリーなど、オリンピックに関するゲームを体験し、体を動かしながら英語での会話を楽しみました。

11月2日には、3回目として「ハッピーハロウィン」を予定しています。

## 15 わくわくプログラミング教室について

7月28日に中央公民館において、プログラミング教育の一環としてジュニアサイエンティスト講座わくわくプログラミング教室を開催しました。日本大学文理学部のたにせいいち谷聖一教授を講師に招き、1年生から6年生までの45名の児童が文字を使わず絵だけでプログラムを作れるビジュアル型プログラミング言語「Viscuit（ビスケット）」を使い、子ども達自身が描いた絵をプログラミングで自由に動かす体験をしました。

11月16日には、2回目の教室開催を予定しています。

## 16 障がい者差別解消法に基づく研修会について

8月20日に総合センターらぼーる、22日、23日は中央公民館において、障がい者差別解消法の趣旨・内容の理解の推進や、障がい者差別に関する知識と対応技術の向上を図るため、市内小中学校の全教職員を対象とした「障がい者差別解消法に基づく研修会」を開催しました。

昨年に続き2年目となる今年度も、茨城大学のありがえり有賀絵理先生を講師に招き、「昨今

の現状と今後の対応～障がい者差別解消法の理解とその他～」をテーマにした講義と実習体験等を行いました。

## 17 那珂市家庭学級第1回合同学習会開催

7月4日、総合センターらぼーるにおいて、家庭教育学級第1回合同学習会を開催しました。

講師に、フリーアナウンサーで「ひらけ！ポンキッキ」8代目おねえさんの鈴木もえみ先生を迎え、「子どもの心をつかむ話し方」をテーマにご講演いただき、保・幼・小・中の保護者をはじめ、地域のかたなど、多くのかたがたから大変好評を得ることができました。

## 18 那珂市子ども会親睦競技大会開催

7月20日、那珂総合公園アリーナにおいて、子ども会親睦競技大会として「スポーツ鬼ごっこ」を実施しました。

チームメイトと連携しながらコート内を縦横無尽に走り回り、白熱した試合が展開され、横堀子ども会が見事優勝を果たしました。

## 19 第74回国民体育大会に向けた取組み

6月1日から2日の2日間、県立水戸農業高等学校特設馬術競技場において、いきいき茨城ゆめ国体馬術競技リハーサル大会を開催し、馬場馬術競技を4競技、障害飛越競技を7競技行いました。両日ともに観客席が埋め尽くされるほどの大盛況で、会場は熱気に包まれました。

6月30日、那珂総合公園アリーナにおいて、いきいき茨城ゆめ国体デモンストレーションスポーツ「3B体操」を開催しました。会員の部450人と一般の部102人が参加し、国体ダンスなど日頃の練習の成果を披露し、楽しいひとときを過ごしました。

7月6日、県立水戸農業高等学校特設馬術競技場において、いきいき茨城ゆめ国体馬術競技会開催前イベントを開催しました。茨城県馬術連盟協力のもと、馬術競技のデモンストレーションや引馬体験を実施し、馬術競技を身近に感じていただきました。また、那珂市のPRブースを出展したほか、飲食や体験ブースの出店、各団体のステージ発表など様々な催しも行われ大盛況のイベントになり、来場者数は約1000人を数えました。

7月17日、茨城県庁において、第74回国民体育大会における陸上自衛隊勝田駐屯地の協力に関する協定等締結式が開催され、本市におきましては、馬術競技の協力に関する細部事項について覚書を取り交わしました。

8月24日、なかひまわりフェスティバルにおいて、市内8地区の炎を一斉に炬火台に点火し那珂市の炬火とする「いきいき茨城ゆめ国体那珂市炬火集火式」を行いました。那珂市炬火名は、各地区の採火イベントに参加された市民のみなさんの投票に

より「ゆめと希望 那珂から未来へ 平和の火」に決定され、炬火命名者である「青遙学園那珂市立第二中学 8 年生の<sup>ゆみの</sup>弓野<sup>えいた</sup> 榮大さん」を炬火名最優秀賞として表彰いたしました。さらに、国民体育大会総合開会式において那珂市代表炬火走者に選ばれました、陸上競技会全国大会に出場経験のある「わかすぎ学園那珂市立第四中学校 8 年生の<sup>おおはた</sup>大島<sup>ゆうな</sup> 優菜さん」を紹介しました。

## 20 戸多地区かわまちづくり芝苗植付けイベント開催

7 月 21 日、かわまちづくり支援制度により多目的広場等の整備を進めている戸多地区河川敷において、J リーグで使用されている芝生と同じ品種の芝苗の植付けイベントを開催しました。

市民をはじめ、市内外のスポーツ団体など、500 人を超える多くのかたがたにご参加いただき、多目的広場を芝生化する第一歩となりました。

## 21 横手市・那珂市友好都市スポーツ交流会開催

7 月 27 日から 28 日の 2 日間、横手市少年野球スポーツ少年団及び関係者 45 人が那珂市を訪れました。

那珂総合公園において開催されたスポーツ交流会や歓迎レセプションでは、交流事業関係者をはじめ地域のかたがた等が多数訪れ、友好関係をさらに深めることができました。

## 22 茨城ロボッツプレシーズンゲーム開催

8 月 17 日、那珂総合公園アリーナにおいて、茨城ロボッツのプレシーズンゲーム (VS 越谷アルファーズ) が「那珂市の日」として開催され、市内外から 667 人が来場しました。

また、那珂市の日特別企画として、市特産品が当たる抽選会を行ったほか、市在住・在学者を対象に抽選で 25 組 50 人が特別価格で、25 組 50 人が無料招待されました。

その他、那珂市の地域振興に関する協定を締結している筑波銀行のご協力により、市内バスケットスポーツ少年団を対象としたバスケットボールクリニックが開催されました。団員たちは茨城ロボッツの選手から丁寧な指導を受け、有意義な時間を過ごすことができました。

## 23 公共下水道事業審議会について

7 月 23 日、市公共下水道事業審議会を開催し、平成 30 年度事業報告、令和元年度事業予定等についてご審議いただきました。本年度は、公共下水道全体計画の見直しに向け、地域の実態に応じた汚水処理手法についてご審議をいただく予定です。

## 24 マンホールカードについて

8 月 7 日から、曲がり屋にて当市のマンホールカードの配布を開始しました。この

カードは、日本下水道協会が企画し全国の自治体が配布するもので、下水道への理解と関心を深めていただくとともに、当市の魅力をお伝えするきっかけとなるよう作成いたしました。当市のカードには本年4月に上菅谷駅前に設置したカラーマンホールを掲載しており、市内の観光案内等を記載した台紙に添えて、曲がり屋に直接お越しいただいたかたに無料でお配りしております。

## 25 消防業務について

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として18回行い、1,645人が参加して、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。

また、応急手当普及のため普通救命講習会等を15回行い、211人が修了しました。

火災出場件数については4件、救急出場件数については523件となっています。

令和元年9月3日

那珂市長 先崎 光